令和7年度入学式 式辞

希望に満ちた穏やかな日差しが満開の桜に降り注ぐ今日の佳き日に、観音寺市教育委員 宝田 恒治 様をはじめ、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに、令和7年度観音寺市立観音寺中学校入学式を挙行できますことを心からお礼申し上げます。

さて、77名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

観音寺中学校の全教職員並びに在校生は、これから皆さんとともに学び合えることをとても楽しみにしています。この学校は、またそれぞれの教室は、皆さんの取組み次第で、かけがえのない、素晴らしい場所になるはずです。

ただ、実は学校には特別なものは何一つありません。校舎があり、教室という箱の中に黒板と机と椅子があるだけ、また、運動場や体育館などがあり、そこには少し広い空間があるだけで、ほかは、先生と生徒の皆さんがいるだけです。たとえばトヨタやホンダなどの世界に名だたる自動車メーカーの工場には最新の機械があり、素晴らしい性能の車を生み出しています。また、近年は外国人観光客が増加していますが、母国へのお土産に日本のお菓子をたくさん買っているそうです。お菓子をはじめ食品メーカーの工場にも、おいしさを追求するために工夫を凝らした機械があり、大きな利益をあげて、私たちの生活の中に豊かさを生み出しています。

では、特別なものは何もない、この学校という場所で皆さんは何を生み出すのでしょうか。

私はぜひ、皆さん一人一人に自分自身の未来を生み出してほしいと考えています。本校の学校教育目標は「志を持って 自ら学ぶ 心豊かな生徒の育成」であり、志とは、夢という漠然としたものから一歩進んで、自分のめざすところをより明確にしたものです。その志を小学校での学びを生かしながら仲間と切磋琢磨することで、心の中に持つこと、そして日々の勉強をはじめ、体育大会や合唱コンクールなどの学校行事、生徒会活動などを通してさらに磨き上げることで、それぞれの未来は少しずつ確実に生み出されていきます。それはどんなに速い車にも多額のお金にも替えられない素晴らしいものです。

私たちは図らずも多くの困難を経験して、未来は教えられた答えだけでは創れないことを知りました。東日本大震災や能登半島の地震、各地で起こる大雨による災害、春休み中には、岡山県や愛媛県などで大規模な森林火災も発生しました。さらに、世界に目を向けてみると、複数の地域で戦争が続いています。また、ほんの数年前には新型コロナウイルス感染症によって、社会がパニック状態になりました。このような誰も経験したことのない世界では、「教えられた

答え」だけでは乗り越えることができないことがはっきりしたのです。

しかし、それでも私たちは未知の問いに必死になって立ち向かわなければなりません。そのときに必要なのが、未知の答えを見出す力であり、基礎的・基本的な知識や技能に加えて、私はこの学校の教室という箱の中で、皆さんにその力を身に付けてほしいと思っています。

本校は今年で創立79年目、これまで一万七千人余の生徒が本校を巣立ち、政治・経済・文化・スポーツなど、社会の様々な分野で活躍しています。皆さんの先輩たちはここで学び、運動し、歌い、学校行事などで仲間と感動を分かち合いながら成長していきました。皆さんも今日からこの学校で学ぶ生徒として、1日1日の生活を充実させてください。

そのために心がけてほしいことを3つ言います。

1つ目は、食事、睡眠、運動など生活リズムを大切にし、健康な生活を心がけることです。

2つ目は、同級生や先輩、先生など、まわりの人とよりよい人間関係を築き、互いに励まし合い、支え合い、協力することです。

3つ目は、社会にルールがあるように、学校にもルールがあります。時代や社会の変化に応じて、皆さんの意見も取り入れながら変えるべきところは変えていこうと考えていますが、今のルールは、今の観中生一人一人が安全・安心して充実した学校生活を送れるように決められたものです。まずは今の学校のルールをしっかり守ることを約束してください。

さて、保護者の皆様、本日から大切なお子様を本校でお預かりし、全教職員が一丸となり、それぞれのお子様の持てる力や良さを伸ばし発揮させることができるよう取り組んで参ります。

中学校の3年間は、心も体も大きく成長します。その一方で、様々な悩みを抱える時期でもあります。どうか、いつも近くでお子様を見守り支えていただければと思います。

教育は、学校と家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら互いに協力して進めることが何より大切なことと考えております。どうか本校の教育活動に、温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さん、明日から元気に学校に来てください。今、壇上から見ると、皆さんの放つエネルギーが伝わってきます。皆さんの輝く笑顔に会うことを、本校の在校生、先生方が楽しみにしていることをお伝えし、式辞といたします。

令和7年4月7日

観音寺市立観音寺中学校長 三好健浩